

JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.52

2007年1月1日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>



専門学校の歩む道

専門学校 広島工学院大学校理事長
専門学校 広島自動車大学校理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

古澤 敏昭

教育環境は、少子化により大きく変わり始めている。大学は偏差値入学から脱皮し、論文・面接を重視したOA入試を拡大することにより、学生の個性を重視した入学選抜方式に重心を移しつつある。入学しやすく卒業しにくいというアメリカ方式に移行しつつあるとも言える。私自身、多様化してきた大学入試制度の恩恵を受け、70歳で広島大学修士課程を修了した。その充実感を鑑みると、この変化は勉強意欲を持つ多くの人々にその機会を与える非常に好ましい動きであろう。

少子化で大学が進路模索

特色ある大学づくりを目指し、大学は入学選抜方式の変更とともに、それぞれ自らが進むべき道を模索し始めた。学術研究をより重視していこうとする大学がある一方で、実社会に通用する実務資格や国家資格に関連する技術・技能の付与に力を入れる大学が現れてきた。

競争原理に基づき、ある程度統合・合併が進んでいくのは仕方がないとしても、できれば旧国公立大学は学術研究集団のリーダーとして地域社会に根付き、大学本来の姿を保って欲しいと考える。他方の専門技術・技能の付与を重視する大学は、専門学校が従来から担ってきた実務に則した教育を行っていかうとして



いる。そのような大学と専門学校は、その教育においてオーバーラップする部分が益々大きくなっていくだろう。しかし、実務に則した教育といっても、大学が行ってきている技術・技能の付与は専門学校の実務教育と同じであり、その意味では大学が専門学校化しているに過ぎない。大学は高度な専門性を有しているが、実務に則した技術・技能の付与に関して言えば、専門学校は大学に勝るとも劣らないと考える。

面倒見よい教育で差別化

しかし残念ながら、地方では専門学校より大学を進学先として優先して考える傾向が強い。そこで専門学校は、規模が大きい大学では難しい「面倒見のよい教育」を行うことにより大学との差別化を図るべきではないか。実務に則した教育により独自の技術・技能を学生に付与するとともに、一人一人の個性を重視した「精神的教育」により人間性と人格を磨く手助けをしていってはどうか。

本学園では、心と技を鍛えるべく、開校以来毎年、年2回の合宿研修を行っている。

ところで私は、以前ある記事に感銘を受けた。それは九重親方（元横綱千代の富士）の話である。親方は、「修業とは力と技、そして人間性を磨くこと」と言う。また、厳しい修業時代に、「辛抱するんだよ」という愛情ある一言が、自分にとって励みになったという。弟子たちの性格や能力の違いを理解することから九重親方の弟子の育成が始まる。愛情ある一言も、弟子一人一人の個性を認識することによって初めて可能になる。これが今の専門学校に必要なことではないか。先日ある言葉を耳にした。「丘の上から見ると皆同じだが、下に降りて見ると一人一人が違って見える」と。

これからも「面倒見のよい教育」を行っていきたい。愛情を持って、世間に通用する個性豊かな人間性を育てていきたい。この「心」の道が夢と希望を与えると信じて。

CONTENTS

2面	OPINION
3面	我が校自慢
4-5面	一級口試試験のガイドライン
6面	協会トピックス
7面	活躍卒業生・地区通信
8面	私の教材活用・編集後記